

都道府県	千葉県	報告者 連絡先	後藤達也 tel 043-291-1831 mail tatsuya.gotou@chiba-reha.jp	
団体名称/ 参加団体	千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会 C-RAT			
実施内容	<input type="checkbox"/> 組織化・連携の 動き	<input type="checkbox"/> 研修会実施	<input checked="" type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/> その他
実施日	平成 29 年 8 月 26 日	実施場所	そうさ記念公園・匝瑳市民ふれあいセンター	
概要	<p>第 38 回九都県市合同防災訓練 報告書</p> <p>1. 防災訓練目的（第 38 回九都県市合同防災訓練 実施計画書より） 震災時における県や市、各防災機関の連強化を図るため実践的な訓練を実施するとともに、自主防災組織を中心とした避難所運営訓練を行うことにより減災への備えや発災時の心得など学習する。これにより、自助・共助・公助に基づく地域防災力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>2. 本訓練における C-RAT の目的</p> <ul style="list-style-type: none">・ 避難所運営訓練では地元の自主防災組織に対し、避難所運営に関してリハの視点を入れた環境改善等を通じて生活不活発病などを予防できる、要配慮者の生活を支援できる、などの点について気づきを促す・ 防災フェアでは一般見学者や防災関係団体に対して、広く災害リハのことを啓蒙する・ 開催地域からのスタッフ参加を促し、地域の災害リハに関わる関係者の横の繋がりを築く <p>3. 訓練概要</p> <p>(1) 実施日時：平成 29 年 8 月 26 日（土）9:00-12:30</p> <p>(2) 実施場所：そうさ記念公園・匝瑳市民ふれあいセンターほか</p> <p>(3) 訓練規模：参加機関は約 100 機関、参加人員は約 5,000 名</p> <p>(4) 訓練想定：千葉県東方沖地震、匝瑳市は震度 6 強で沿岸部は津波被害あり</p> <p>(5) 訓練項目：以下を同時並行で実施し、C-RAT は下線部の項目に対して参加した</p> <ul style="list-style-type: none">・ 実動訓練：ヘリやオートバイによる情報収集などの初期活動、道路啓開、救出救助、トリアージなどの医療救護、ライフライン復旧や物資搬送などの生活支援・ <u>避難所運営訓練</u>：自主防災組織が中心となった避難所の運営・ ボランティアセンター運営訓練：被災地における災害ボランティアセンター運営・支援・ 多数遺体取扱訓練：遺体安置所の設営や検死・検案、身元確認及び遺族対応・ <u>防災フェア</u>：防災に関する展示や実験・体験学習など <p>4. C-RAT 参加スタッフ：計 36 名。内訳は以下。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 職種別内訳としては、医師：2 名、看護師：2 名、ケアマネ：2 名、PT：15 名、OT：10 名、ST：3 名、事務：2 名、計 36 名。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成団体別内訳としては、C-RAT 会長 1 名、県看護協会 1 名、県介護支援専門員協議会 2 名、県理学療法士会 4 名、県作業療法士会 6 名、県言語聴覚士会 1 名、県リハ医学懇話会 1 名、広域支援センター 7 名、広域支援センター協力施設 6 名、千葉リハセンター 3 名、C-RAT 事務局 4 名、計 36 名（地域の災害リハの横の繋がりを築くという目的より、C-RAT 幹事・構成団体の他に、訓練開催地域の地域リハ関係団体より参加を募った）。 <p>5. C-RAT 実施内容</p> <p>C-RAT は数種類ある訓練項目のうち、避難所運営訓練と防災フェアに参加した。</p> <p>「避難所運営訓練」は地元の自主防災組織を避難所運営における各活動班として役割付けし、避難所内で発生する業務を広く認識して貰う研修要素のある訓練として企画された。</p> <p>C-RAT が介入したのは上記活動班のうち要配慮者班であり、リハの視点を入れた段ボールベッド、マットなどの道具を用いた避難所設営を行った。また、それらの設備を用い、自主防災組織の方々に障害者の体験をしてもらい、生活不活発病の予防、要配慮者の生活支援などの気づきを促すことを目的に実施した。</p> <p>「防災フェア」については、C-RAT は 70 名ほど入る会議室 1 室を充てられ、①エコノミークラス症候群予防対策、②災害時の自助具やコミュニケーションの工夫、③嚥下食の展示と試食、④トイレ等の環境整備などのブースに分かれて、一般見学者や防災関係者に対して啓発した。</p> <p>避難所運営訓練と防災フェアを来訪した一般見学者や防災関係者ほぼ全員（約 300 名）に C-RAT のパンフレットを配布した。</p>
<p>所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県知事に直接 C-RAT の活動の説明をすることができ、今後の県との協定を締結推進するにあたり、貴重なアピールの場になった。 ・ 一般見学者や他支援団体に対して、災害リハのアピールの場になり、当初の目的である啓発ができた。 ・ スタッフに対して、C-RAT の取組みを実地で理解してもらい、顔の見える関係作りに寄与する良い場になった。 ・ 今年度は JRAT より借りたビブスの数よりも参加スタッフ数の方が多かったため、スタッフには適宜他の防災フェアなどを積極的に見学してもらった。それにより災害に携わる他支援団体の活動への理解が深まった。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県と C-RAT の間で協定の締結を推進する。 ・ 今回の参加は 2 回目ではあったが、人員確保などの準備に手間がかかってしまった。前回・今回の出展をある程度のパッケージとして次回からの参加や、他地域 JRAT への伝達を進めたい。 ・ 他の災害支援団体との横の繋がりを作っていきたい。
<p>今後の活動予定</p>	<p>年度内 ： 県との災害時派遣協定締結推進</p> <p>2018 年 1 月 ： 第 3 回 C-RAT 研修会</p>
<p>事務局への要望等</p>	<p>ユニフォームに関して、職種名などが書かれたビブスの採用も検討して頂きたい。</p>

写真、資料など可能な範囲で添付をお願い致します。



開会式での参加者整列



避難所運営訓練参加団体



避難所運営訓練での自主防災組織への説明



避難所運営訓練における設営訓練



避難所運営訓練における自主防災組織の方の体験



避難所運営訓練でのまとめ



エコノミークラス症候群対策ブースの様子



防災フェアにおける一般見学者への説明



嚥下食展示・試食ブースでの県知事対応



自助具・コミュニケーションブースでの様子



県知事に対して C-RAT 会長から災害リハの説明



C-RAT メンバー集合写真